

ようこそ本の世界へ！ 豊郷町で本と出会おう



豊郷町立図書館

開館時間 午前10時から午後6時まで
休館日 毎週月曜および第3日曜日
 国民の祝日
 資料整理日（毎月最終木曜日）
 年末年始（12月28日から1月4日まで）
 特別整理期間

本・雑誌（最新号をのぞく）・紙芝居	10点まで	2週間
カセットテープ・CD	2点まで	2週間
ビデオ・DVD	2点まで	1週間

図書館の行事

- ・「びよびよおはなし会」（乳幼児向け）
毎月第1金曜日 11時から
- ・「とことこおはなし会」（幼～小学校向け）
毎月第3土曜日 11時から
- ・「工作教室」（小学校向け） 8月第1水曜日
- ・「子ども読書週間記念おはなし会」や
「夏休みおはなし会」など、
記念おはなし会もあります☆

行事の詳細な内容や日程は、ホームページや広報等でご確認ください。

〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑518
 （豊郷小学校旧校舎群内）

電話(0749)35-8040・FAX(0749)35-8046



第2次 豊郷町子ども読書活動推進計画

概要版

読書を通して優しくたくましく

「本大好き!!豊郷っ子」を

育てよう



令和2年3月
 豊郷町教育委員会

第2次豊郷町子ども読書活動推進計画 【概要版】

発行年月：令和2年3月

発行：豊郷町教育委員会事務局 社会教育課

〒529-1161 滋賀県犬上郡豊郷町四十九院1252

TEL: 0749-35-8010 FAX: 0749-35-8021



計画策定の趣旨

子どもは本を読むことによって、言葉を学び、読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、読書体験を通じて多くの知識を得たり、さまざまな人や地域、国、文化、考え方があることを理解できるようになります。

豊郷町では、すべての子どもが読書に親しみ、関心を持ちながら自主的に読書活動を進められるよう「第2次豊郷町子ども読書活動推進計画」を策定しました。

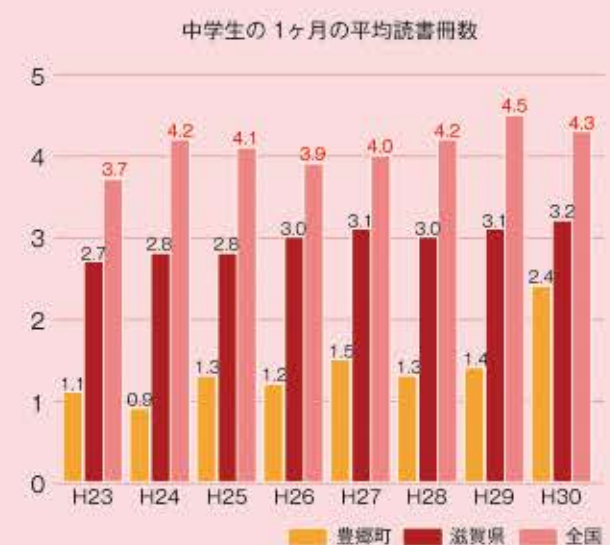
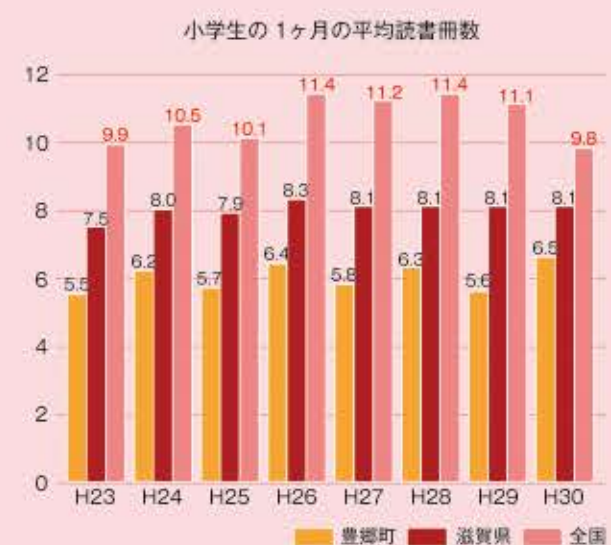
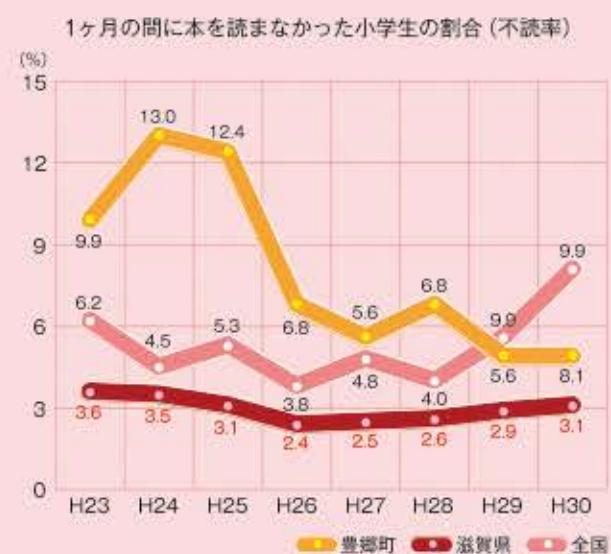
計画の対象

概ね 18 歳以下の子どもを対象とします。

計画の期間

令和 2 年から令和 6 年までの概ね 5 年として推進します。

〈参考〉子どもの不読率と平均読書冊数の推移



基本目標

読書を通して優しくたくましい『本大好き！！豊郷っ子』を育てよう

豊郷町では、前計画の「読書を通して優しくたくましい『本大好き！！豊郷っ子』を育てよう」を基本目標として引継ぎ、次の3つの基本方針に基づいて、子どもの発達段階に応じ、保護者や地域を巻き込んだまち全体の読書活動の推進に取り組みます。

基本方針

子どもが本と出会い、
本への関心を
高めるきっかけづくり

子どもの発達段階や個性、時代の流れにも配慮しながら、幅広い本との出会い、きっかけづくりを行っていきます。

家庭・地域・園・学校など、
まち全体で取り組む
子ども読書活動の推進

家庭・地域・園・学校および行政を含めたまち全体が連携し、子どもが読書に親しむ機会と場の充実を図ります。また、図書館司書・教員・保育士・ボランティアなどの資質向上に努め、連携・協力のもと効果的な取り組みを推進します。

子ども読書活動推進のための
理解と関心の普及

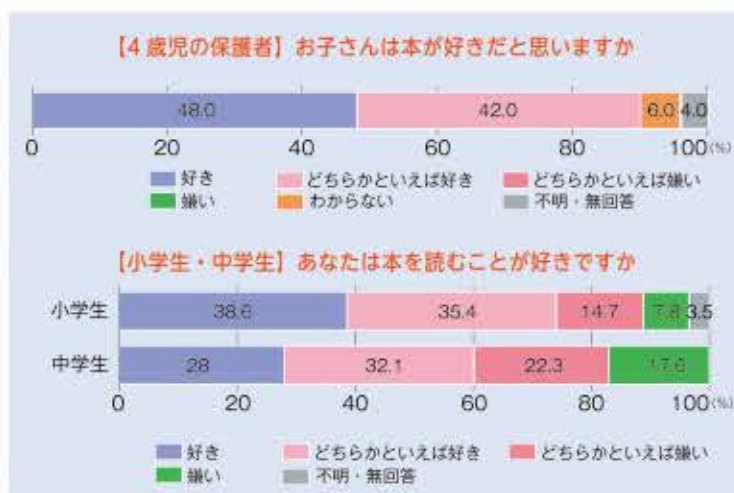
保護者・教員・保育士など、子どもを取り巻くさまざまな大人が読書活動に理解と関心を持つことができるよう、情報発信を行い、広く普及・啓発を図るよう努めます。

1 発達段階ごとの効果的な読書に親しむ習慣づくり

町の現状と課題

4歳児の保護者、小学生、中学生を対象に行ったアンケートでは、本を読むことが「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えた割合が、4歳児の保護者はいみせんでしたが、小学生で約20%、中学生では約40%と年齢が上がるにつれて増える傾向がみられました。

乳幼児期から小学生・中学生へと成長し、自立心が芽生え、自主性が形成されていく過程で、本に親しみ、読書を楽しむ心が育まれるよう、子どもたち一人ひとりの個性や発達に応じた読書活動の機会の提供に努めることが大切です。



今後の方向性と具体的な取組

(1) 乳幼児期における絵本の重要性についての啓発

- ・ 保育園・幼稚園における絵本の貸出や、「園だより」を活用した家庭への情報発信、保護者を対象とした講座や研修会の開催など、啓発活動の実施
- ・ 乳幼児健診時における読書や読み聞かせの推奨
- ・ 民生委員児童委員やボランティア・町立図書館の連携による、子どもと大人と一緒に本に親しむ機会づくり



豊郷小学校

(2) 職員の資質向上 (保育園・幼稚園)

- ・ 職員のスキルアップのため、研修会や講習会への自主的な参加の促進

(3) 読書活動の充実 (小学校・中学校)

- ・ 子どもが本に親しみ、読書習慣を身につけるため、引き出しや絵本袋への本の常備や、学級文庫の充実などの推進
- ・ 子どもの個性や発達段階に応じた指導方法の工夫
- ・ 朝の読書タイムなど全校一斉の読書活動や学級単位での学校図書館利用、ボランティアによる読み聞かせなどの継続
- ・ ブックトーク^{※1}、読書へのアニメーション^{※2}などの取組の推進
- ・ 図書室オリエンテーションの充実



日栄小学校
学級文庫

(4) 読書環境の整備と充実 (小学校・中学校)

- ・ 学校図書館の本のレイアウトや紹介方法の工夫。学級文庫への魅力ある本の設置や学期ごとの蔵書入れ替え
- ・ 児童生徒の発達段階に応じた推薦図書などの選定
- ・ 学習活動中の学校図書館の活用や、図書の検索システムの導入、学習支援のできる司書の配置などの推進
- ・ 図書管理システムの導入
- ・ 学校図書館における学校司書の配置・活用、開館日の増設、設備・備品の充実



豊郷中学校

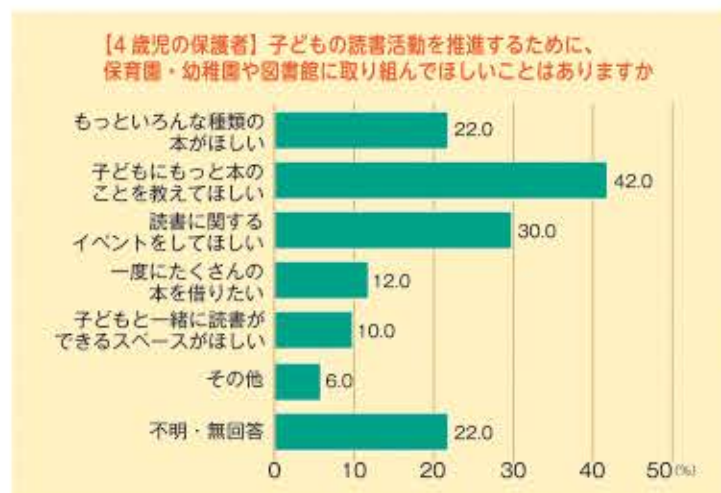
※1 ブックトークとは、相手に興味を持ってもらえるように、あるテーマに沿って関連付けて、複数の本を紹介することです。テーマからさまざまなジャンルの本に触れることができます。
 ※2 読書へのアニメーションとは、子どもたちの参加により行われる読書指導のことであり、読書の楽しさを伝え自主的に読む力を引き出すために行われます。ゲームや書者訪問など、さまざまな形があります。

2 まち全体で取り組む読書活動の推進

町の現状と課題

4歳児の保護者へのアンケートでは、本を読むことが大切だと「思う」「どちらかといえば思う」という回答が大半を占める一方で、読み聞かせを「ほとんどしない」という回答が28%となっています。

子どもの読書活動を推進するために取り組んで欲しいこととして、「子どもにもっと本のことを教えてほしい」、「読書に関するイベントをしてほしい」などの回答が多くなっており、子どもに関わるさまざまな機関が連携して取り組むことが必要です。



今後の方向性と具体的な取組

(1) 乳幼児期から本に親しむ環境づくり

- ・ 家庭内読書や親子読書、地域の施設活用の推進
- ・ 保育園・幼稚園、子育て支援センターでの読み聞かせの充実
- ・ 絵本の読み聞かせボランティアを招くなど、絵本に親しみ、関心をもてるような工夫

(2) 保護者が本に親しむ機会の提供

- ・ 保護者向けの研修会やイベントなどの開催
- ・ 親子フォーラムなどにはなし会を取り入れるなど、保護者を巻き込んだ読書活動の推進

(3) 家庭・学校・図書館の連携

- ・ 図書館や学校の読書ボランティアとの連携の強化
- ・ 「学校だより」を活用した家庭への読書活動の啓発や、親子読書としての学級で絵本を回覧
- ・ 図書館による学校巡回の継続

(4) まち全体で取り組む読書活動

- ・ ノーメディアデーや家庭読書の日の働きかけ
- ・ 県が作成する子ども読書啓発冊子の活用
- ・ 読書ボランティアなどの活動の充実に向けた、養成講座やスキルアップ講座の開催



おはなしボランティア養成講座



図書館見学



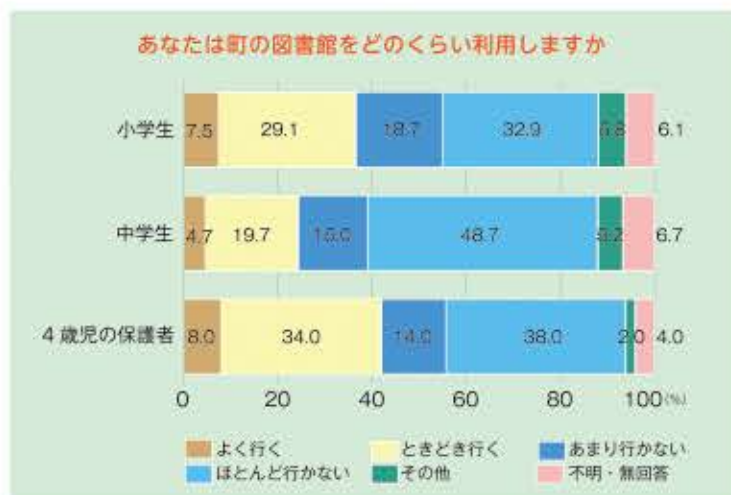
3 図書館における読書活動の推進

町の現状と課題

アンケート調査では、小学生・中学生・4歳児の保護者の図書館の利用頻度は高くない状況であり、中学生では半数近くが「ほとんど行かない」と回答しています。

また、図書館では子どもや保護者を対象としたおはなし会や人形劇、えいが会などを行っていますが、「参加したことがある」と回答した保護者は少なくなっています。

子どもの読書活動を推進するうえで図書館は中心的な役割を担っており、子どもが本に触れ合う機会を充実する環境整備を進める必要があります。



今後の方向性と具体的な取組

(1) 図書館資料および設備の充実と整備

- ・絵本や紙芝居、児童文学、図鑑や学習資料、青少年向けの図書、障がいのある子どもや外国籍の子ども向けの図書資料、英語教育資料など、本町の実態に合わせた資料の充実
- ・閉架書庫の設置による閲覧スペースの確保と滞在しやすい図書館に向けた工夫
- ・図書館のWeb予約利用の周知

(2) 乳幼児期の子どもや保護者への働きかけと医療保険課、保健福祉課との連携

- ・乳幼児とその保護者が利用しやすい図書館づくり
- ・医療保険課、保健福祉課、ボランティア団体などとの緊密な連携

(3) 保育園・幼稚園・子育て支援センター・小中学校との連携

- ・図書資料の選定についての調整や、園児・児童生徒の読書活動に関する情報交換
- ・学校図書館および学習活動のサポート
- ・図書館見学が難しい日米小学校に対して、図書館職員の訪問による図書館利用の周知

(4) 図書館事業の工夫と広報

- ・子ども食堂、りんぼかんフェスティバルなど町の施設で行われる事業との連携
- ・工作など体験的な活動と読書活動を組み合わせた催しの推進
- ・「としょかんだより」や町の広報、ホームページなどを活用した図書館事業の周知
- ・図書館ホームページによる情報提供の充実



工作教室

(5) ボランティアの支援と地域との連携

- ・読書ボランティアへの支援と、新しいボランティアグループの育成
- ・学校や園、自治会の公民館などでの読書ボランティアの活動支援

(6) 図書館職員やボランティアの資質の向上

- ・図書館職員やボランティアの資質の向上に効果的な内容の講座、研修会の継続的な実施



人形劇

本計画の指標

指標名		現状 (令和元年度)	目標 (令和6年度)
1ヶ月の間に本を読まなかった児童生徒の割合	小学校	15.8%	5.0%
	中学校	43.0%	40.0%
児童生徒の1ヶ月の平均読書冊数	小学校	3.9冊	8.0冊
	中学校	2.0冊	3.0冊
学校司書の在校日数	小学校	週2日(半日単位)	開校時は常時
	中学校	週1日(半日単位)	開校時は常時
開校時は常時開館している学校図書館数	小学校	0/2校	2/2校
	中学校	0/1校	1/1校
学校図書館標準に達している学校数	小学校	0/2校	2/2校
	中学校	0/1校	1/1校
学校図書館における児童生徒1人あたりの年間貸出冊数	小学校	14.5冊(平均)	15.0冊
	中学校	3.5冊	4.0冊
蔵書管理システムを導入している学校数	小学校	0/2校	2/2校
	中学校	0/1校	1/1校
学校図書館に「読みたい本がない」と感じている児童生徒の割合	小学校	25.4%	15.0%
	中学校	32.6%	20.0%
	高校生世代	10.2%	15.0%
園児1人あたりの蔵書冊数	保育園	11.2冊(平均)	14.0冊
	幼稚園	13.9冊	14.0冊
	乳幼児	9.0%	20.0%
図書館を利用したことがある子ども	小学生	35.5%	70.0%
	中学生	21.5%	33.0%
	高校生世代	10.2%	15.0%
図書館の児童図書の蔵書冊数(12歳以下1人あたり)		38.4冊	40.0冊
図書館の児童図書の貸出冊数(12歳以下1人あたり)		14.1冊	18.0冊
読書ボランティアの団体数と人数		3団体(26人)	5団体(40人)
週に1日以上読み聞かせをしている家庭の割合(保育園・幼稚園)		68.0%	80.0%
読書に関わる保護者向け研修会、イベントなどの開催回数		-	年間6回

